

「西伊敷住民総活躍で地域力を発揮！」

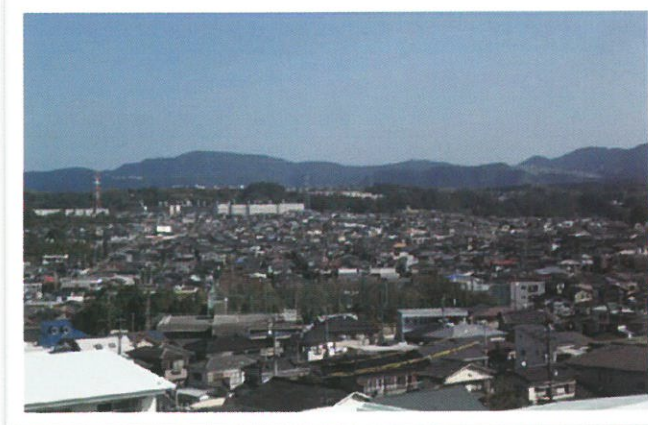
～住民のマンパワーで住みよいまちづくり～」

第1期（令和元年度～令和5年度）

西伊敷まちづくりプラン

〔地域振興計画〕

「3,000人の賢者」がいるわがまち西伊敷



西伊敷まちづくり協議会

所在地 〒890-0002 鹿児島市西伊敷4丁目12番1号

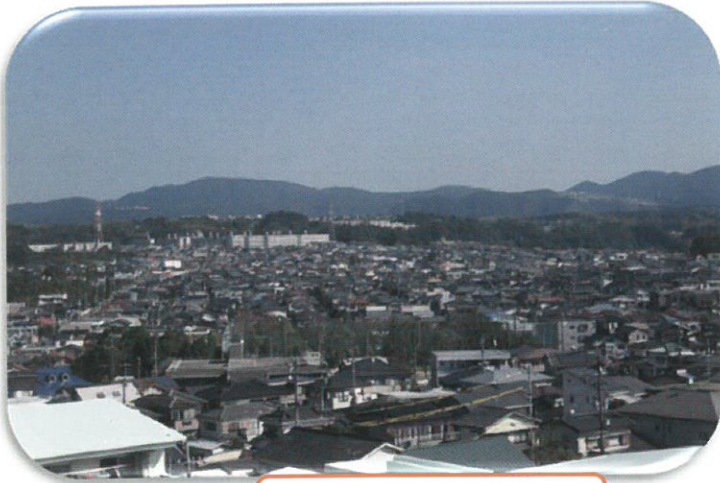
電話・FAX 099-813-7472

(E-mail) nishimachikyo@po5.Synapse.ne.jp

目 次

1	私たちの校区	1
2	策定のねらい	2
3	校区の概要・現状	3
4	各部会の現状と課題	7
5	まちづくりの目標	10
6	推進組織と主な活動	11
7	まちづくりプラン（具体的な取組）	12
8	資料	14
	○ アンケート結果	
	○ プラン策定までの経過	
	○ プラン策定委員	
	○ 校区安心・安全マップ	

1 私たちの校区



伊敷団地を望む



小学校坂から桜島を望む



2 策定のねらい

私たちが住んでいる西伊敷校区はどんな魅力を持っているのか、どんな課題を抱えているのかを住民全体で共有し、今後「どのようなまちにしていきたいか」という将来像を思い描き、その将来像を実現するための地域資源の発掘や活用の方法を検討・実施したり、また暮らしやすいまちづくりや多様な課題を解決していく方法を模索したりしていくための具体的な計画です。向こう5年間のまちづくり計画を策定し、西伊敷の特色を活かした魅力あふれる、住みやすく活気ある地域づくりを目指します。

地域の資源・課題

自然が豊かである

高齢化が進んでいる

安全な暮らし

子どもが減少

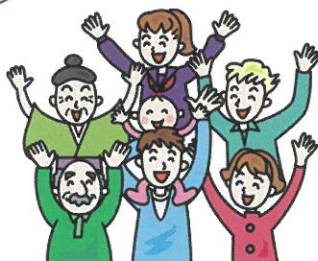
お互いの信頼と助け合い

活力ある人間関係と連携

行事への参加意識が
やや薄い

近隣との人間関係は良好である

住民が気軽に集える場所が少ない



西伊敷住民総活躍で地域力を発揮！

～住民のマンパワーで住みよいまちづくり～

3 校区の概要・現状

(校区の歴史・特徴)

私たちの西伊敷校区は、鹿児島市の北西部に位置する高台にある団地です。昭和40年代、日本の高度経済成長に伴い、鹿児島市の人口増に対応するため、良質の住宅地をつくる必要があり、伊敷町と岡之原町にまたがる高野原台地が造成されました。現在、西伊敷1丁目から7丁目まで区割りされ、伊敷団地の愛称で親しまれてきました。

鹿児島北インターが近く、多くの住民が集まり、最盛期は人口が1万人を超え、ある程度まとまった商業施設やバスの便の多さで、安心安全で便利な暮らしを実現してきました。

さらに、河川や幹線道路などで地域が分断されない地勢的な要因や、「西伊敷」という地名の住所が全て西伊敷小学校に通う「一地名一校区」です。しかも地域住民が参加した活発なスポーツ活動・文化活動の成果もあって、校区の一体感が醸成されてきました。

(校区の現状認識・課題)

近年は、少子高齢化で人口減少社会を迎え、小学校の児童数も激減してきています。また、独居高齢者が増加し、空き家・空き地が増加して、地域社会の運営が今までどおりではいかなくなってきました。そこで、校区内の各種団体・個人・企業が協力して、計画的にまちづくりをしていく体制が求められてきています。

西伊敷校区は、周囲は自然が豊かな校区でもあります。また、地域住民同士のふれあいも盛んで、まちづくり協議会や町内会などを中心に青少年健全育成やふるさとづくり・まちの活性化など、様々なまちづくり構成団体・組織の活発な活動に支えられながら、住民が一体となり「住みよいまちづくり」に取り組んでいるところです。

《平成31年1月1日現在》

(1)① 人口 男 3,566人 女 4,315人 合計 7,881人

② 総世帯数 3,502世帯

	世帯数	人口	男	女
西伊敷1丁目	364	786	371	415
〃 2丁目	372	787	347	440
〃 3丁目	682	1,534	676	858
〃 4丁目	590	1,511	676	835
〃 5丁目	331	725	338	387
〃 6丁目	494	1,127	515	612
〃 7丁目	669	1,411	643	768

③ 町内会加入率 87.6 % 《平成30年4月1日現在》

(2) 高齢化率 40.4% (65歳以上) 《平成27年10月1日現在の国勢調査より》

- (3) 関係小中学校 児童生徒数 《平成31年4月8日現在》
- | | | | | | | |
|--------|----|------|----|------|----|------|
| 西伊敷小学校 | 男子 | 175人 | 女子 | 157人 | 合計 | 332人 |
| 緑丘中学校 | 男子 | 166人 | 女子 | 198人 | 合計 | 364人 |

(4) 主な校区の行事や伝統文化等 (月別の行事等の紹介)



西伊敷まちづくり定期総会(5月)



ラジオ体操会(8月)まちづくり協議会主



伊敷団地納涼夏祭り大会(7月)町内会連合会主催



防災講習会(8月)町内会主催



校区内安全点検等(7月)スクールゾーン委員会・まち協



銀河ロード祭(9月)商店街通り会主催



ウォーキング大会(10月)まちづくり協議会主催





グランドゴルフ大会(6月・10月)



ソフトボール大会(10月)町内会連合会主催



西伊敷校区文化祭(11月)まちづくり協議会主催



ソフトバレーボール大会(11月)



新春餅つき会(1月)商店街通り会主催



防犯講習会(11月)町内会連合会



立志のつどい(1月)まちづくり協議会主催



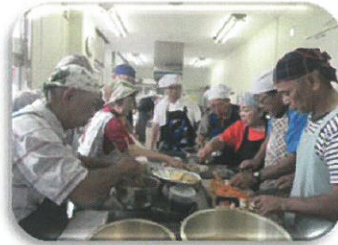
炊き出し訓練とAED・心肺蘇生法講習(1月)校区社会福祉協議会



交通安全横断幕の設置(3月)



青色防犯パトロール隊活動(通年) まちづくり協議会主催



成人学級(通年) まちづくり協議会



女性学級(通年) まちづくり協議会



まちづくり協議会 各会議(通年)

(5) 主な関係施設・場所等 (緊急避難場所・その他)



西伊敷福祉館(指定緊急避難場所)



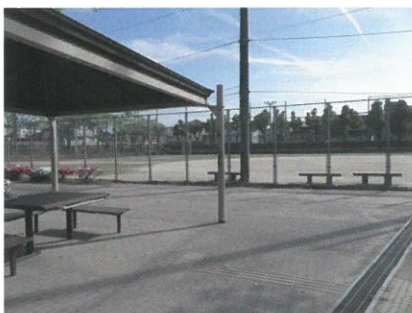
長寿あんしん相談センター 西伊敷



西伊敷小学校(指定緊急避難場所)



緑丘中学校(指定緊急避難場所)




伊敷団地中央公園(地震時の緊急避難場所)




伊敷団地第一公園(地震時の緊急避難場所)

4 各部会の現状と課題

◇ 総務広報部会

現 状 ・ 課 題	
<ul style="list-style-type: none">○ 地元住民が多いが、転入者も少しずつ増えてきている。○ 旧住民と新住民との交流を図る必要がある。○ 児童生徒が減少している。○ 隣近所の間人間関係が少しずつ希薄になりつつある。○ 地域ぐるみのあいさつ・声かけ運動など人間関係は良好で絆も深い。○ 住民同士の情報の共有が難しい。○ もっと交流の場がほしい。○ 若い人が地域に残らない。○ 若者の定住化を図るにはどうしたらよいか。○ 高齢化で、町内会活動が難しくなっている。○ 町内会加入促進を図るにはどうすればよいか。○ 役員の高齢化により地域行事の担い手が不足している。○ 若い地域のリーダー（後継者）が必要である。○ 次世代の人材育成が大事になる。○ ゴミ捨てのルールを守らない人がいる。○ 地域活動や各種行事への参加者を増やしたい。○ 空き地、空き家の活用方法はないものか。○ 日用雑貨や食料品の店が近くに少なくなっている。○ 交通手段が厳しくなっており、買い物等が不便である。	

◇ 安心安全部会

現 状 ・ 課 題	
<ul style="list-style-type: none">○ 交通の便はよいが、交通事故が心配される。○ 通勤・通学時の交通事故等を未然防止する方策が望まれる。○ 地域ぐるみでの防犯・防災体制が大事になる。○ 災害への備えをみんなで考え、整備していく必要がある。○ 子育て支援策を拡充する必要がある。○ 校区内安全点検や暗がり点検などの実施が必要である。実施後の改善をどのように促していくか工夫する必要がある。○ 緊急時に備えて避難訓練を行う必要がある。○ A E D 講習や A E D が無い場合の人命救助講習の定期的実施の必要がある。○ 災害時の停電・断水になった時の対応を学んでおく。（講習会・研修等）○ 町内の商業施設付近等での違法駐車の場合がある。子どもや高齢者を守るために、警察への通報や取り締まりを強化させる必要がある。（法令遵守や規範意識を高める方策を講じる）○ 空き家対策を講じる必要がある。（賃貸促進、状況把握、不審火対策など）	

◇ 福祉部会

現 状 ・ 課 題

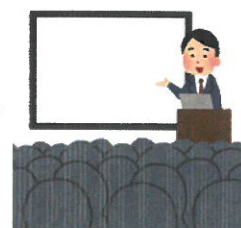
- 高齢化比率が高く、街に活気がほしい。
- 行事等への参加人員が固定化しているため、屋外への誘導対策が必要である。
- 災害時に避難指定場所への移動が困難で、地形的に道程に高齢者がスムーズに移動できないところもある。
- 緊急避難場所として、公民館を指定するように申請するが認可は難しい状況である。
- 一人暮らしの高齢者が多くなり、日常生活に不安を抱えている。
- 高齢化で買い物が不便な人が増えている。
- 地域みんなが気軽に集い、語らう場所がほしい。
- 高齢者が自ら動ける範囲で生きがいづくりに取り組む企画があればよい。
- 福祉ボランティアの育成が必要である。
- 地域の相互扶助精神の醸成が大切である。
- 坂が多く、買い物が不便である。
- 交通の便が悪い地域があり、外出しづらい。
- 買い物の不便さを手助けできる制度や店舗の紹介などの情報の発信が必要である。
- 交通の不便さを解消する手だて。(5丁目から1丁目を回るバスの要望など)
- 認知症への理解と共助の工夫が必要である。
- 福祉に関する先進地との交流などをする必要がある。



◇ 社会教育部会

現 状 ・ 課 題

- 「校区文化祭」は、小学校PTAバザーと同日・同時開催で盛況である。継続とともに内容の充実ができればよいと思う。
- 社会学級の女性学級は長年続き工夫をされて継続している。成人学級は参加者募集を工夫する必要がある。継続して進められればよい。
- 社会学級の内容や運営の工夫が必要である。
- 校区内で気軽に参加できる講座があればよい。
- 地域行事が多いので、参加者が負担になっている面もある。
- 校区公民館等を利用した学習活動ができればよいと思う。
- 校区の学習グループの実態把握ができていない。
- 生涯学習への理解を深める必要がある。
- 住民の交流を目的に、校区文化祭の継続を望んでいる。
- 予算があれば、全国的に有名な講師を招いて、講演会等を開きたい。



◇ 健康づくり部会

現 状 ・ 課 題	
○	スポーツや仲間づくり・健康体力づくり等関心はあるが、参加者は少ない。
○	「朝のラジオ体操」(年1回)は、参加者が多い。健康づくりに関心のある人々が多いと思われる。継続した健康づくりの行事ができればよい。
○	歩こう会やウォーキング大会への参加者は多い。健康意識は高い。
○	大会等への参加者が限られた人になっている。
○	スポーツの同好会やクラブが少ない。
○	生涯スポーツの観点から、各年齢層が求める手軽な参加しやすい活動はないか考えていく必要がある。
○	健康に関する講座を増やしてほしい。
○	スポーツを通じた地域づくりが乏しい。
○	参加を促す方法が不足している。
○	校区運動会などはできないものか。
○	健康づくりに関する「同好会やクラブ等」の結成は可能である。



◇ 青少年育成部会

現 状 ・ 課 題	
○	小中高生を含め、各行事によく参加している。
○	あいご会活動は、市民みんなで育成する組織であることを理解していない人が多いように思う。
○	あいご会など青少年育成団体の育成や支援が大切である。
○	異年齢集団での活動をさらに充実する必要がある。
○	少子化・核家族化や共働きの増加などにより、家庭や地域での教育力が低下している面もある。
○	子どもを育成する大人の意識改革が必要である。
○	地域での世代間の交流が不足している。
○	携帯やインターネット等での有害情報が青少年の健全育成に弊害をきたしている面もある。
○	関係育成団体等との連携をさらに綿密にする必要がある。
○	「立志のつどい」では、中学生が積極的に活動している。素晴らしいことである。このような行事は継続していくことができればよいと思う。
○	「青少年健全育成大会」の開催で、更なる健全育成を図っていく必要がある。



5 まちづくりの目標

(1) まちづくりの目標（スローガン）

「西伊敷住民総活躍で地域力を発揮！
～住民のマンパワーで住みよいまちづくり～」

(2) 目指す将来像

西伊敷まちづくり協議会は、西伊敷住民同士が親睦を図ることを推進します。それにより、住民相互の理解を深め「各住民ができること」を住民間で共有し、「住民全員が活躍できるまち」になるための素地を作っていきたいと考えます。

その上で、住民一人一人がマンパワーを発揮し、身近な課題の解決や地域資源を活かした活動など「地域主体のまちづくり」に貢献できるよう、西伊敷住民総活躍で地域力を発揮するための仕組みづくりに努めます。

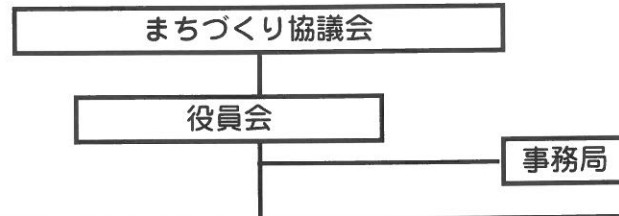
同時に住民相互の理解を深めることで、今まで以上に「信頼しあえる豊かな人間関係」を構築し、自助・共助・公助による密な連携で「安心安全に暮らせるまち」、「地域でふるさと自慢ができ、元気を感じることができる活力あるまち」、そのような地域コミュニティづくりを進めます。

このように「住民総活躍」をひとつのキーワードとしてまちづくりを行うことで、西伊敷が培ってきたこれまでの風土のいいところをさらに伸ばし、「住んでいてよかった」と思えるまちづくりに努めます。

(3) 運営方針

- ① 西伊敷住民が故郷意識を持って「住んでいてよかった」と思えるまちづくりに努めます。
- ② 子どもから高齢者まで、住民みんなが夢や希望を持ち、お互いをより深く知ることによって信頼関係を構築し、共に助け合いながら「笑顔あふれる」まちづくりに努めます。
- ③ 各部会の自発的活動の充実と、活動を通しての人材発掘および人材育成に努めます。
- ④ 各部会の構成団体同士の連携を図り、効率的かつ効果的な活動推進に努めます。
- ⑤ 地域の課題を基に作成した「まちづくり計画」に基づき、西伊敷の特色を活かした実践活動に努めます。

6 推進組織と主な活動



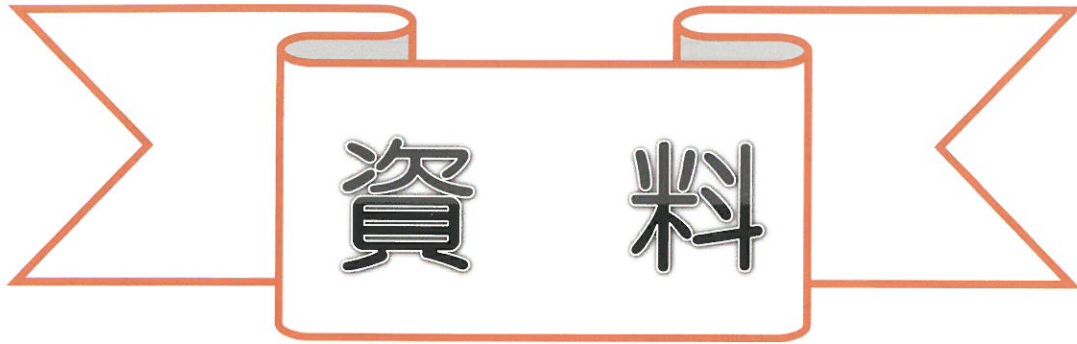
部会名	活動方針	主な活動	構成団体等
総務広報部会	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会の総合窓口を努めるとともに、協議会全体の調整をしながら、広報宣伝活動を実施します。 西伊敷における人材の掘り起こしを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎まちづくり計画の作成 ◎広報活動 ○夏祭り支援・協力 	町内会連合会 町内会 小学校 小学校PTA 商店街 南日本新聞販売 FMぎんが アポロ電気
安心安全部会	<ul style="list-style-type: none"> 西伊敷における各種自然災害への防災意識の普及や交通安全、犯罪未然防止、危険箇所点検等を通し、相互に支え合う体制の充実に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎安心安全ネットワーク会議の推進 ◎交通安全協会の活動支援・協力 ◎避難訓練の実施 ○校区内危険箇所点検の実施 ○校区内暗がり点検の実施 ◎青パト隊の活動と拡充 	町内会連合会 町内会 あいご会 民児協 社会福祉協議会 小学校 中学校 小学校PTA 消防団 警察OB 安全モニター 少年ボランティア 110番の家 退職校長会 通学保護員 老人クラブ 通学ボランティア
福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化の進展に伴う校区の課題等に積極的に取り組むとともに、地域住民が思いやりをもって支え合う福祉活動の活性化に努力します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○介護講習会 ○認知症理解と対応及び予防 ○高齢者・障がい者・乳児等の見守り活動 ○生活支援活動 ○野菜と苗の無料配布 	町内会連合会 町内会 社会福祉協議会 福祉館 民児協 いしき園 児童クラブ こまどり保育園 長寿あんしん相談センター 元気塾デイサービスセンター 七福神 ウェルカムデイズ セブン-イレブン
社会教育部会	<ul style="list-style-type: none"> 西伊敷住民の好奇心を涵養し各種文化活動を推進育成することにより、学ぶ楽しみ・集う楽しみ・仲間づくりに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎校区文化祭の実施と広報 ○社会学級（成人・女性）の運営・支援・広報・拡充 	町内会 小学校 小学校PTA 女性学級 成人学級 家庭教育学級 退職校長会 老人クラブ カトレア 大田流舞踊 西伊敷健康クラブ
健康づくり部会	<ul style="list-style-type: none"> 西伊敷住民の健康の保持促進とスポーツ・レクリエーション活動の推進を図り、元気で生き生きとした西伊敷住民を育成し、総参加の活力あるまちづくりにつなげます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「ラジオ体操会」の開催と広報及び拡充 ◎「ウォーキング大会」の開催と広報・拡充 ○健康教室や講座の開催 ○各種スポーツ大会の支援 	町内会 小学校 小学校PTA スポーツ推進委員 体育指導委員 ソフトボール協会 なかむら整形外科 富永内科
青少年育成部会	<ul style="list-style-type: none"> 西伊敷の青少年の健全な育成を図るために、郷中教育のよさを盛り込みつつ、家庭・学校・地域が一体となって「西伊敷っ子」の成長の支援を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「立志式のつどい」の開催と充実 ○あいご会の育成協力・支援 ○スポーツ少年団の支援 	町内会 あいご会 小学校 中学校 小学校PTA 中学校地区PTA スポーツ少年団 おやじの会 ファミリーリソース翔

7 まちづくりプラン（具体的な取組）

○印は、その年度の実施予定を表す

	番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画					継 共 新
					R元	R2	R3	R4	R5	
総務 広報 部会	1	各種行事の企画 夏祭りの支援	行事日程調整 夏祭り準備等	住民の絆 ふれあい交流	○	○	○	○	○	継
	2	情報収集と情報発信の 確立	「まち協だより」 の発行	情報の発信と共有	○	○	○	○	○	新
	3	町内会との連携	町内会を構成団体 へ	住民の連携		○	○	○	○	新
安 心 安 全 部 会	4	校区内安全点検	校区内の危険箇所 等の把握	安心安全な暮らし の確保	○	○	○	○	○	継
	5	校区内暗がり点検	夜間の照明灯の確 認	安心安全な暮らし の確保	○	○	○	○	○	継
	6	校区内パトロール（青 パト隊）	巡回パトロール	校区の見守りや安 全支援等	○	○	○	○	○	新
	7	町内会との連携	町内会を構成団体 へ	住民の連携		○	○	○	○	新
福 祉 部 会	8	見守り活動支援	各町内会の活動支 援	一人暮らしの高齡 者をさりげなく見 守る	○	○	○	○	○	共
	9	非常炊出し訓練と 救急法講習会	炊飯活動 救急法の実演	災害時の対応の 仕方の理解や活動	○	○	○	○	○	共
	10	子育てサロンの支援	親子での遊び、育 児相談・情報交換 等	子育て支援や親子 の交流等	○	○	○	○	○	共
	11	生活支援活動	一人暮らしや高齡 者宅への訪問と見 守り活動・声かけ	高齡者等への支援			○	○	○	新
	12	福祉に関する地域情報 の発信	買物支援業者の一 覧表等の作成及び 情報提供	買物が不便な方々 への情報の発信に よる支援		○	○	○	○	新
	13	町内会との連携	町内会を構成団体 へ	住民の連携		○	○	○	○	新

	番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画					継 共 新
					R元	R2	R3	R4	R5	
社会 教育 部 会	14	校区文化祭	校区民主体の 「文化祭」の実施	文化的行事の実施 と鑑賞により、地 域の連帯感や所属 感を高める	○	○	○	○	○	継
	15	校区講演会	「講演会」の実施	講演を聴くことで 見聞を広げる		○		○		新
	16	町内会との連携	町内会を構成団体 へ	住民の連携		○	○	○	○	新
健康 づ く り 部 会	17	朝のラジオ体操会	総参加でのラジオ 体操を行う	ふれあい健康づく りの醸成	○	○	○	○	○	継
	18	ウォーキング大会	総参加でのウォー キング大会を行う	ふれ合い健康づく りの醸成	○	○	○	○	○	継
	19	救急救命講習会	A E Dの取扱講習 救命蘇生講習等	健康づくりの意識 を高める (消防分団・伊敷 分遣隊の協力)	○	○	○	○	○	共
	20	健康づくり教室	料理教室や講習会	健康づくりの意識 を高める		○	○	○	○	新
	21	町内会との連携	町内会を構成団体 へ	住民の連携		○	○	○	○	新
青 少 年 育 成 部 会	22	立志のつどい	自分の夢・希望 発表や講演会等	中2生の自己啓発 と故郷愛の育成	○	○	○	○	○	継
	23	青少年健全育成大会	実践活動発表や講 話	地域教育力の向上 情報交換や住民の 交流	○	○	○	○	○	新
	24	町内会との連携	町内会を構成団体 へ	住民の連携		○	○	○	○	新



資料

- 1 アンケート結果・・・・・・・・P14
- 2 プラン策定までの経過・・P23
- 3 プラン策定委員・・・・・・・・P24
- 4 校区安心安全マップ・・・・・・・・P25

1 アンケート結果

「西伊敷まちづくり」アンケート集計結果

「西伊敷まちづくり協議会」のアンケート結果です。平成30年7月にアンケートを実施いたしました。御協力ありがとうございました。

- 1 実施期間 平成30年7月
- 2 対象者 西伊敷校区各町内会会員世帯（抽出）
西伊敷小学校の全保護者
緑丘中学校の西伊敷小学校出身の2年生保護者

3 アンケート実施状況

	【配布世帯数】	【回収世帯数】	【回収率】
(1) 各町内会(1～7丁目)	665名	529名	79.5%
(2) 小学校保護者	253名	101名	39.9%
(3) 中学校保護者	65名	33名	50.8%
(4) その他(街頭)	5名	5名	・
合計	988名	668名	67.6%

西伊敷まちづくり協議会が実施したアンケートについては、主に年齢別に集計を行うことで子育て世帯や高齢者のまちづくりへの課題意識・ニーズ等を整理しています。結果については、西伊敷まちづくりプランの策定及び今後のまちづくり活動に役立てていきます。

なお、この結果分析は、市都市計画課、株式会社ランドブレインの方々にも多大な御協力をいただきました。また、今後の団地再生推進事業の「伊敷団地の活性化に向けたワークショップ」における資料としても提供されることとなります。

また、小中学生に対しても、少し簡略化したアンケートを実施しました。「安全に関すること」「今後、参加・協力したい活動」「伊敷団地に住み続けたいかどうか」「どのような『まち』を希望するか」などの設問に対しては、いずれも良好な結果でした。紙面の都合上、詳細な結果は割愛いたします。

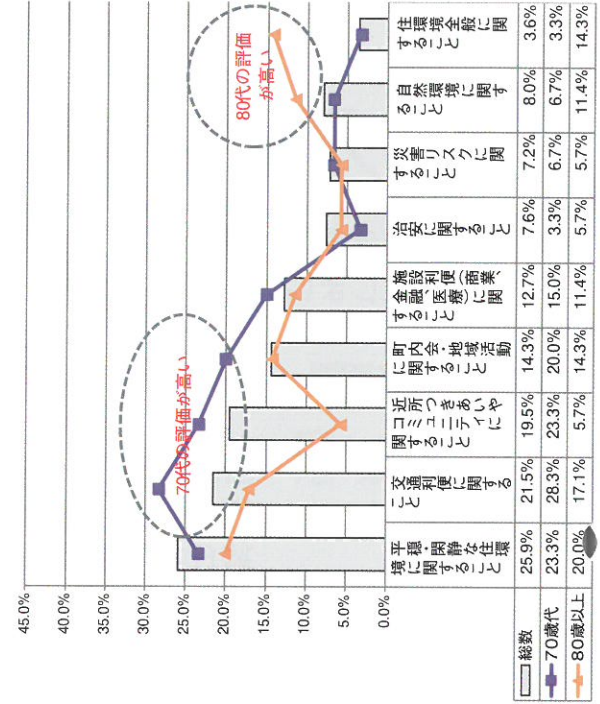
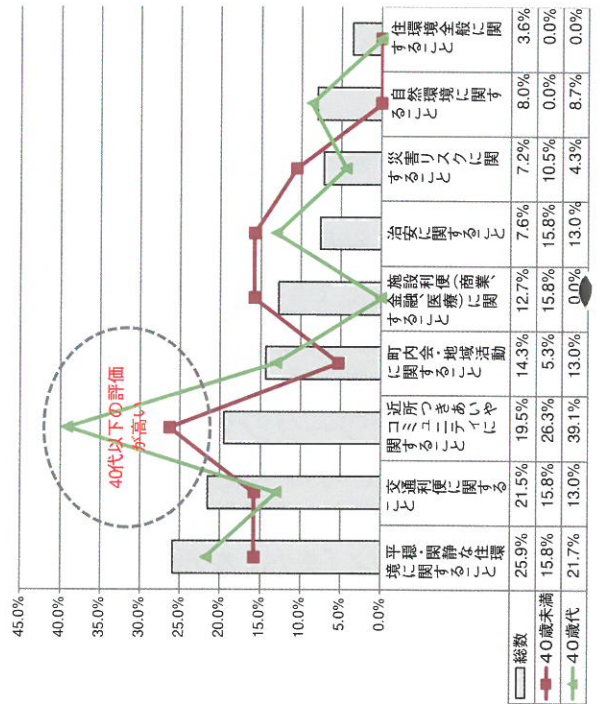
1. この地域に住んでいて、感じている不安や問題点・地域の良さ

① 西伊敷地区の良さ

自由記入の内容を内容別に分類すると、「平穏・閑静な住環境」に関する意見が最も多く、次いで「交通便利」に関する意見となっています。年代別にみると、40歳代以下では、「近所つきあいやコミュニティ」を評価する意見が多くなくなり、70歳代では、「交通便利」を評価する意見が多くなっています。

■図表 西伊敷地区の良さ【問23】（総数251、自由記入を内容別に分類して集計）

%	平穏・閑静な住環境に関すること	交通便利すること	近所つきあいやコミュニティに関すること	町内会・地域活動に関すること	施設利用（商業・金融、医療）に関すること	治安にすること	災害リスクに関すること	自然環境に関すること	住環境全般に関すること	その他
総数 (n=251)	25.9%	21.5%	19.5%	14.3%	12.7%	7.6%	7.2%	8.0%	3.6%	8.0%
年齢										
40歳未満 (n=19)	15.8%	15.8%	26.3%	5.3%	15.8%	15.8%	10.5%	0.0%	0.0%	15.8%
40歳代 (n=23)	21.7%	13.0%	39.1%	13.0%	0.0%	13.0%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%
50歳代 (n=42)	16.7%	26.2%	11.9%	7.1%	21.4%	14.3%	7.1%	4.8%	2.4%	7.1%
60～64歳 (n=16)	50.0%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%
65～69歳 (n=25)	36.0%	20.0%	12.0%	20.0%	16.0%	0.0%	8.0%	8.0%	4.0%	4.0%
70歳代 (n=60)	23.3%	28.3%	23.3%	20.0%	15.0%	3.3%	6.7%	6.7%	3.3%	6.7%
80歳以上 (n=35)	20.0%	17.1%	5.7%	14.3%	11.4%	5.7%	5.7%	11.4%	14.3%	17.1%
無回答 (n=31)	38.7%	22.6%	29.0%	9.7%	3.2%	9.7%	6.5%	19.4%	0.0%	6.5%
性別										
男 (n=72)	26.4%	18.1%	11.1%	15.3%	11.1%	6.9%	6.9%	13.9%	6.9%	9.7%
女 (n=175)	25.7%	23.4%	21.7%	14.3%	13.7%	8.0%	7.4%	5.7%	2.3%	6.9%
無回答 (n=4)	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

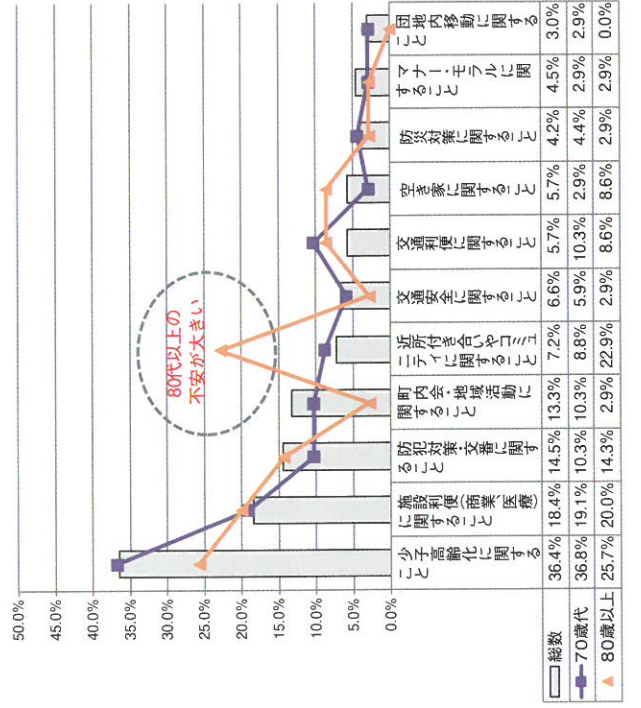
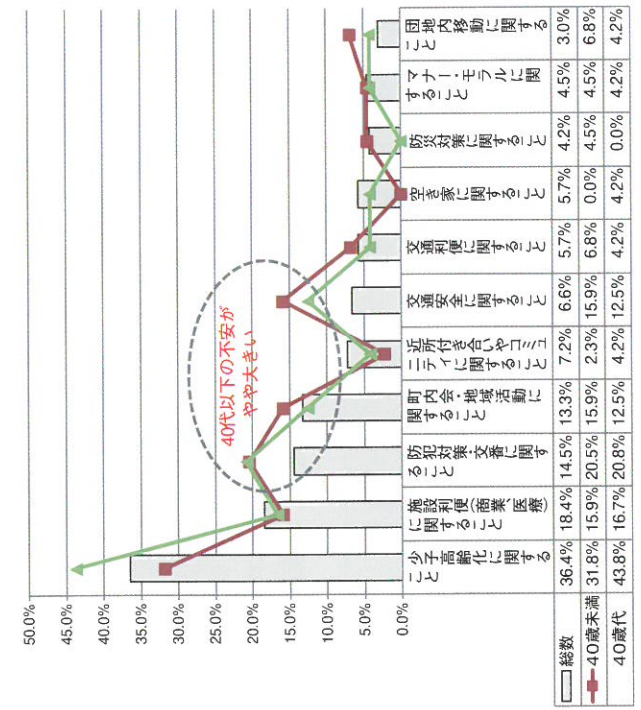


② 西伊敷地区に住んでいて、日頃感じている不安や問題

自由記入の内容を内容別に分類すると、「少子高齢化」に関する意見が最も多く、次いで「施設利便（商業、医療）」に関する意見となっています。年代別に見ると、40歳代以下では、「防犯対策・交番」「町内会・地域活動」「交通安全」を不安や問題と感じる意見が多くなっています。80歳以上では、「近所付き合いやコミュニティ」を不安や問題と感じる意見が多くなっています。

■ 図表 日頃感じている不安や問題【問11】（総数332、自由記入を内容別に分類して集計）

%	少子高齢化に関すること	施設利便（商業、医療）に関すること	防犯対策・交番に関すること	町内会・地域活動に関すること	近所付き合いやコミュニティに関すること	交通安全に関すること	交通利便に関すること	空き家に関すること	防災対策に関すること	マナー・モラルに関すること	団地内移動に関すること	その他
総数 (n=332)	36.4%	18.4%	14.5%	13.3%	7.2%	6.6%	5.7%	5.7%	4.2%	4.5%	3.0%	5.4%
年齢												
40歳未満 (n=44)	31.8%	15.9%	20.5%	15.9%	2.3%	15.9%	6.8%	0.0%	4.5%	4.5%	6.8%	4.5%
40歳代 (n=48)	43.8%	16.7%	20.8%	12.5%	4.2%	12.5%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	6.3%
50歳代 (n=46)	41.3%	21.7%	15.2%	6.5%	2.2%	4.3%	6.5%	6.5%	4.3%	6.5%	0.0%	4.3%
60～64歳 (n=19)	47.3%	0.0%	15.8%	31.6%	0.0%	0.0%	21.1%	21.1%	10.5%	10.5%	5.3%	0.0%
65～69歳 (n=32)	31.3%	18.8%	3.1%	31.3%	9.4%	3.1%	6.3%	6.3%	9.4%	3.1%	6.3%	3.1%
70歳代 (n=68)	36.8%	19.1%	10.3%	10.3%	8.8%	5.9%	10.3%	2.9%	4.4%	2.9%	2.9%	5.9%
80歳以上 (n=35)	25.7%	20.0%	14.3%	2.9%	22.9%	2.9%	8.6%	8.6%	2.9%	2.9%	0.0%	8.6%
無回答 (n=40)3	35.0%	25.0%	15.0%	10.0%	7.5%	2.5%	0.0%	7.5%	2.5%	5.0%	0.0%	7.5%
性別												
男 (n=78)	35.9%	19.2%	10.3%	11.5%	10.3%	7.7%	3.8%	5.1%	5.1%	5.1%	1.3%	6.4%
女 (n=246)	36.2%	18.3%	15.9%	14.2%	6.1%	6.5%	6.5%	6.1%	4.1%	4.1%	3.7%	4.9%
無回答 (n=8)	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%



■図表 西伊敷地区の不安や問題点・良さ（自由記入の内容を抜粋）

	不安・問題	良さ
平穏・閑静な住環境に関すること	-	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな環境で良い ・静かで緑が多く住みやすい。 ・静かで、あいさつをしあえる温かい地区。 ・高齢者が多いので、穏やかな町。 ・閑静で、買い物・病院・バスが便利。
自然環境に関すること	-	<ul style="list-style-type: none"> ・緑があり、よい環境 ・自然があり、中心部にも近い。 ・自然が多く空気が綺麗で住みやすい。 ・緑が多く、人々が穏やかで落ち着くまち。
少子高齢化に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化・子どもの減少 ・高齢化・空き家の増加・商店の減少 ・高齢化に伴い町内会が成り立たない ・高齢化で地域の交流が希薄 ・高齢化による孤立化 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が多く、町内会自治能力が高い。また、老人会活動が盛ん。 ・高齢者と子ども達の共存。近所づきあいの深さ。 ・裏に子ども家族が住んでいるので、安心。
施設利便（商業、金融、医療）に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化・商店街の衰退 ・高齢化・おみせが遠い ・店舗が少ない ・飲食店が少ない ・病院が少ない ・小児科がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な施設があり、住みやすい ・飲食店やスーパーがあり住みやすい ・銀行・病院等の施設が充実している ・学校や病院・銀行等が揃っている ・商店・公園・病院・小学校が近い
防犯対策・交番に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・交番が無くなった ・街灯・防犯カメラの設置 ・防犯灯を増やしてほしい。 ・自転車・バイクの盗難いたずら ・訪問営業や不審者情報が入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静かで治安がいい ・事件もなく、住みよい ・治安がよく、生活に便利。 ・治安がよく、バスも便利。 ・青少年の問題行動が少ない。
町内会・地域活動に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で町内会も行き詰まりを感じる。 ・空き家が多く町内会の存続が危ぶまれる。 ・町内会行事への参加者減少 ・高齢化による町内会役員の負担。 ・高齢化による若者の町内会役員の負担増。 ・地域の仕事を若い人におしつけないでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会組織がしっかりしている。 ・子ども・高齢者対象のイベントが多く楽しい。 ・色々なグループ活動があること。 ・ボランティア活動が充実している。 ・地域密着のイベントや住民の意見を取り入れるところ。
近所付き合いやコミュニティに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より近所との交流が少なくなった。 ・空き家が多くなり、近所の家族構成も分からない。 ・10人以上で会食できる場所が無い ・人と人の交流で防犯にもつながるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合いが良好。 ・近所との交流やあいさつも出来る。 ・近所との交流があり、過度の干渉がないところ。 ・コンパクトな町、まとまりのある町で人々が温かい。
交通安全に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道前で停車しない車が多い。 ・通学路のスピード出し過ぎ。 ・高齢者の交通事故 ・高齢者の運転が危険 	-
交通利便に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの便が少ない。 ・バス便数が減り不便。 ・あいバスの停留所が少ない。 ・バス停が遠い ・車がないと不便 ・運転が不可能になったら、もっと便利な市街地に住みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部に近く静か ・生活用品が団地内で揃うし、交通が便利。 ・バスの便数もあり、銀行等もあり、住みやすい。 ・治安がよく、車があれば便利。 ・水害の心配が無く、高速道路も近くて便利。
空き家に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えた。 ・空き家の木々や草の不管理。 ・空き家の増加・防犯への不安 	-

	不安・問題	良さ
防災対策に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・崖崩れが心配 ・災害時警報が聞こえにくい ・避難場所 ・災害時の避難の方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな自然災害の心配がない ・水害の心配がない ・浸水の心配がない ・崖崩れの心配がない。 ・土砂崩れする山が少ない。
マナー・モラルに関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションが荒らされること。 ・ゴミステーションのカラス・ネコ対策。 ・商店付近の路上駐車は危険 	-
団地内移動に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・坂道が多くて大変。 ・タイヨーまでタクシーを使う高齢者を見かける。 ・3号線に下る歩道が狭い ・5丁目に通学路の歩道がない。 	-
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉館の老朽化 ・庭木の剪定がなされず、害虫が発生。 ・長年茂りっぱなしの木々を放置している家が困る。 ・中央公園の管理（水はけが悪い・雑草がある等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・道幅が広く、整然としている。 ・まとまっている。分かりやすい ・こぢんまりして住みやすい。 ・温泉が近く、清潔なまち。 ・長年の居住で慣れている地域である。



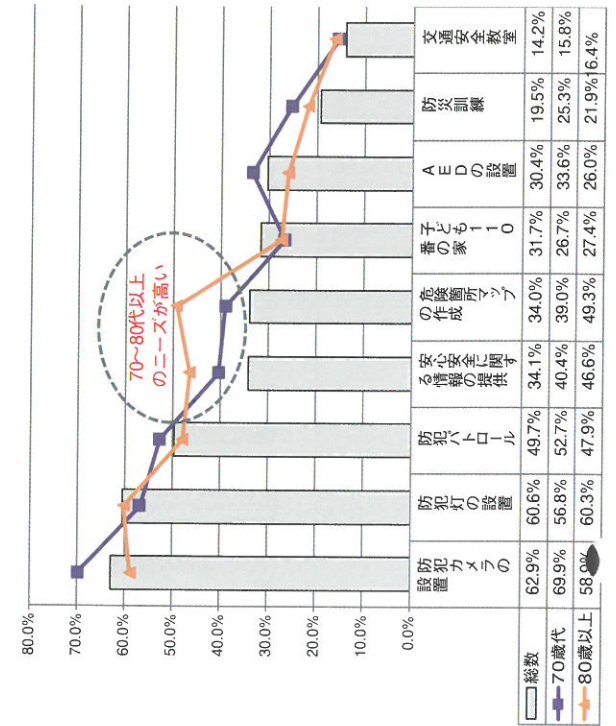
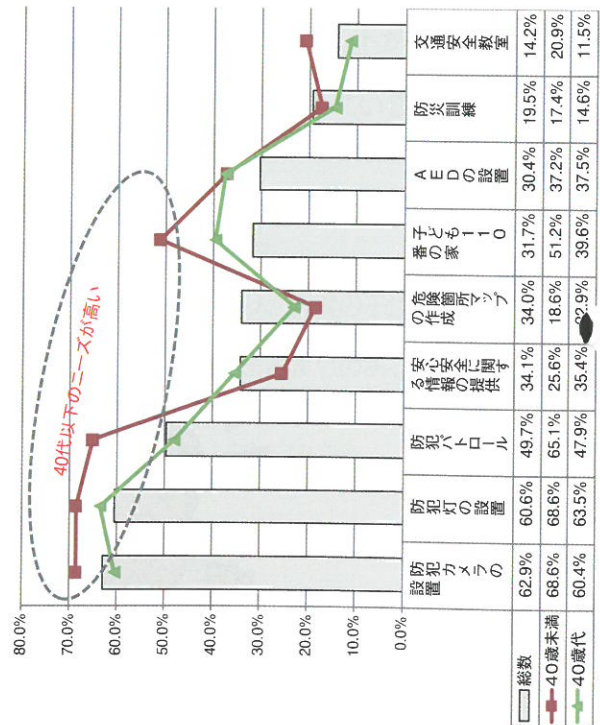
2. まちづくりに関する期待・希望

① 西伊敷地区の安心安全をより強化するために、期待するもの

「防犯カメラの設置」「防犯等の設置」を期待する割合が高く、子育て世帯の多い40歳未満では、これに加え「防犯パトロール」「子ども110番の家」を期待する割合が高くなっています。70歳代以上では、「安全安心に関する情報の提供」「危険箇所マップの作成」を期待する割合がやや高くなっています。

■ 図表 安心安全をより強化するために、期待するもの【問2】（総数668、複数回答）

%	防犯カメラの設置	防犯灯の設置	防犯パトロール	安心安全に関する情報の提供	危険箇所マップの作成	子ども110番の家	AEDの設置	防災訓練	交通安全教室	その他
総数 (n=668)	62.9%	60.6%	49.7%	34.1%	34.0%	31.7%	30.4%	19.5%	14.2%	2.5%
年齢										
40歳未満 (n=86)	68.6%	68.6%	65.1%	25.6%	18.6%	51.2%	37.2%	17.4%	20.9%	2.3%
40歳代 (n=96)	60.4%	63.5%	47.9%	35.4%	22.9%	39.6%	37.5%	14.6%	11.5%	1.0%
50歳代 (n=77)	54.5%	68.8%	39.6%	26.0%	36.4%	22.1%	24.7%	13.0%	10.4%	5.2%
60~64歳 (n=43)	72.1%	48.8%	32.6%	32.6%	32.6%	30.2%	30.2%	11.6%	7.0%	4.7%
65~69歳 (n=54)	55.6%	51.9%	46.3%	35.2%	38.9%	27.8%	20.4%	22.2%	11.1%	3.7%
70歳代 (n=146)	69.9%	56.8%	52.7%	40.4%	39.0%	26.7%	33.6%	25.3%	15.8%	2.7%
80歳以上 (n=73)	58.9%	60.3%	47.9%	46.6%	49.3%	27.4%	26.0%	21.9%	16.4%	1.4%
無回答 (n=93)	59.1%	60.2%	52.7%	28.0%	35.5%	28.0%	25.8%	22.6%	15.1%	1.1%
性別										
男 (n=168)	61.9%	49.4%	42.3%	31.0%	30.4%	23.2%	33.3%	25.0%	17.9%	3.6%
女 (n=478)	63.8%	65.3%	52.7%	36.0%	35.6%	34.7%	29.9%	17.6%	12.8%	2.3%
無回答 (n=22)	50.0%	45.5%	40.9%	18.2%	27.3%	31.8%	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%

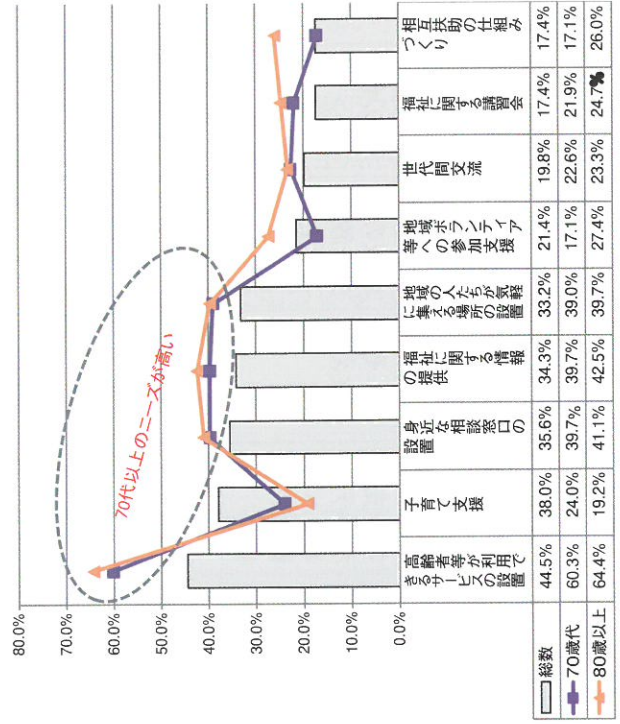
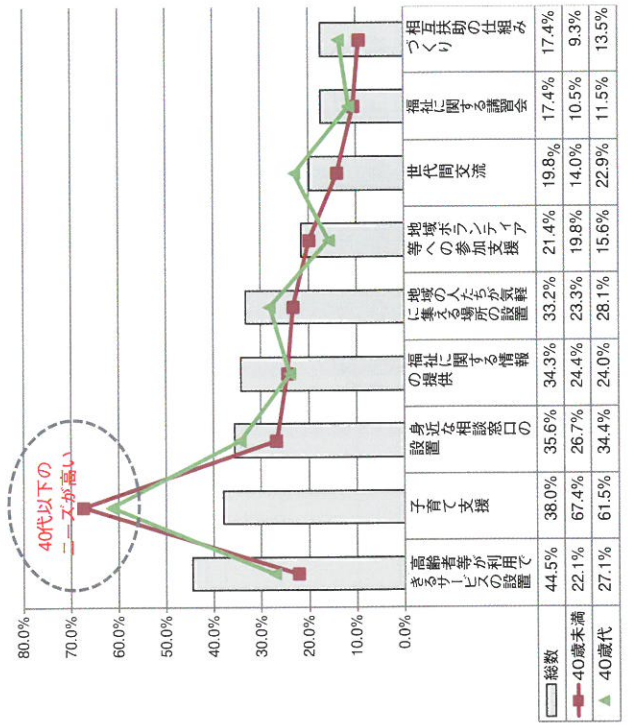


② 西伊敷地区の福祉をより良くするために、期待するもの

全体では「高齢者等が利用できるサービスの設置」「子育て支援」の順に期待する割合が高くなっていきますが、40歳代以下では「子育て支援」を期待する割合が最も高くなっています。

■ 図表 福祉をより良くするために、期待するもの【問3】（総数668、複数回答）

%	高齢者等 が利用できるサ ービスの設置	子育て支援	身近な相 談窓口の 設置	福祉に関 する情報 の提供	地域の人が 気軽に集 まる場所 の設置	地域ボラ ンティア 等への参 加支援	世代間交流	福祉に関 する講習会	相互扶助 の仕組み づくり	その他
総数 (n=668)	44.5%	38.0%	35.6%	34.3%	33.2%	21.4%	19.8%	17.4%	17.4%	1.0%
年齢										
40歳未満 (n=86)	22.1%	67.4%	26.7%	24.4%	23.3%	19.8%	14.0%	10.5%	9.3%	2.3%
40歳代 (n=96)	27.1%	61.5%	34.4%	24.0%	28.1%	15.6%	22.9%	11.5%	13.5%	1.0%
50歳代 (n=77)	36.4%	35.1%	32.5%	42.9%	24.7%	19.5%	15.6%	7.8%	19.5%	1.3%
60~64歳 (n=43)	44.2%	37.2%	48.8%	37.2%	32.6%	20.9%	16.3%	14.0%	25.6%	2.3%
65~69歳 (n=54)	53.7%	24.1%	25.9%	44.4%	42.6%	18.5%	20.4%	27.8%	16.7%	0.0%
70歳代 (n=146)	60.3%	24.0%	39.7%	39.7%	39.0%	17.1%	22.6%	21.9%	17.1%	0.7%
80歳以上 (n=73)	64.4%	19.2%	41.1%	42.5%	39.7%	27.4%	23.3%	24.7%	26.0%	1.4%
無回答 (n=93)	44.1%	34.4%	36.6%	24.7%	35.5%	34.4%	19.4%	20.4%	17.2%	0.0%
性別										
男 (n=168)	47.6%	35.7%	33.9%	28.0%	31.5%	28.0%	30.4%	21.4%	28.0%	1.8%
女 (n=478)	43.5%	40.4%	37.0%	36.8%	33.5%	18.2%	16.3%	15.7%	13.6%	0.8%
無回答 (n=22)	40.9%	13.6%	18.2%	27.3%	40.9%	40.9%	13.6%	22.7%	18.2%	0.0%

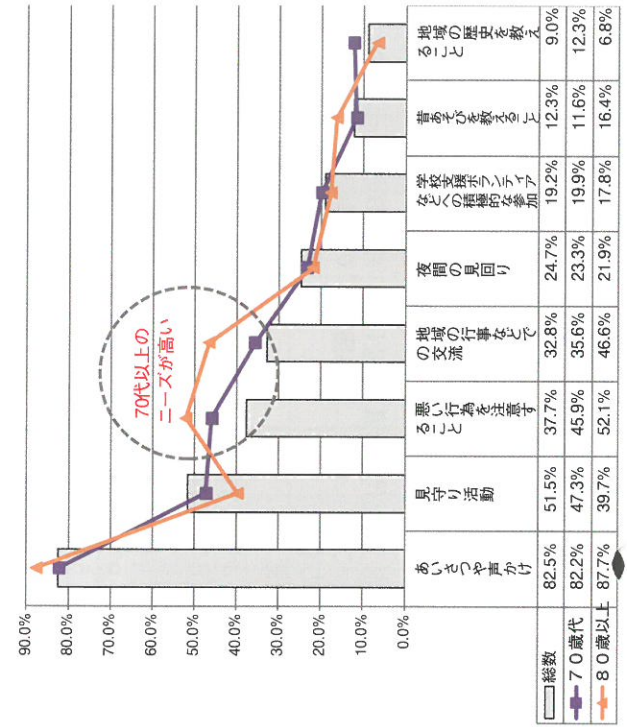
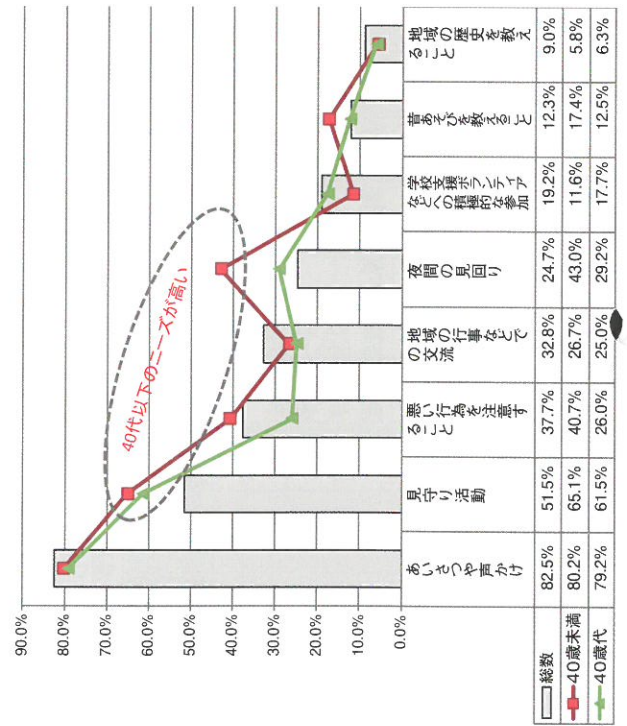


③ 西伊敷地区の青少年健全育成のために、必要だと思うもの

どの年代でも「あいさつや声かけ」の割合が最も高くなっていますが、40歳未満以下では「見守り活動」や「夜間の見回り」、80歳以上では「悪い行為を注意すること」「地域の行事などでの交流」の割合が高いなど、「あいさつや声かけ」以外の項目では世代間に意識の差がみられます。

■ 図表 青少年健全育成のために、必要だと思うもの【問6】（総数668、複数回答）

%		あいさつや声かけ	見守り活動	悪い行為を注意すること	地域の行事などでの交流	夜間の見回り	学校支援ボランティアなどへの積極的な参加	昔あそびを教えること	地域の歴史を教えること	その他
総数 (n=668)		82.5%	51.5%	37.7%	32.8%	24.7%	19.2%	12.3%	9.0%	0.3%
年齢										
40歳未満 (n=86)		80.2%	65.1%	40.7%	26.7%	43.0%	11.6%	17.4%	5.8%	0.0%
40歳代 (n=96)		79.2%	61.5%	26.0%	25.0%	29.2%	17.7%	12.5%	6.3%	0.0%
50歳代 (n=77)		83.1%	51.9%	28.6%	29.9%	19.5%	23.4%	6.5%	6.5%	0.0%
60～64歳 (n=43)		76.7%	51.2%	34.9%	39.5%	18.6%	25.6%	4.7%	7.0%	0.0%
65～69歳 (n=54)		87.0%	48.1%	27.8%	27.8%	13.0%	13.0%	11.1%	13.0%	0.0%
70歳代 (n=146)		82.2%	47.3%	45.9%	35.6%	23.3%	19.9%	11.6%	12.3%	0.7%
80歳以上 (n=73)		87.7%	39.7%	52.1%	46.6%	21.9%	17.8%	16.4%	6.8%	1.4%
無回答 (n=93)		83.9%	46.2%	37.6%	33.3%	21.5%	24.7%	14.0%	11.8%	0.0%
性別										
男 (n=168)		83.3%	42.9%	35.1%	36.3%	22.0%	22.0%	10.7%	13.1%	1.2%
女 (n=478)		82.2%	54.6%	38.3%	32.0%	26.4%	18.2%	12.3%	7.7%	0.0%
無回答 (n=22)		81.8%	50.0%	45.5%	22.7%	9.1%	18.2%	22.7%	4.5%	0.0%

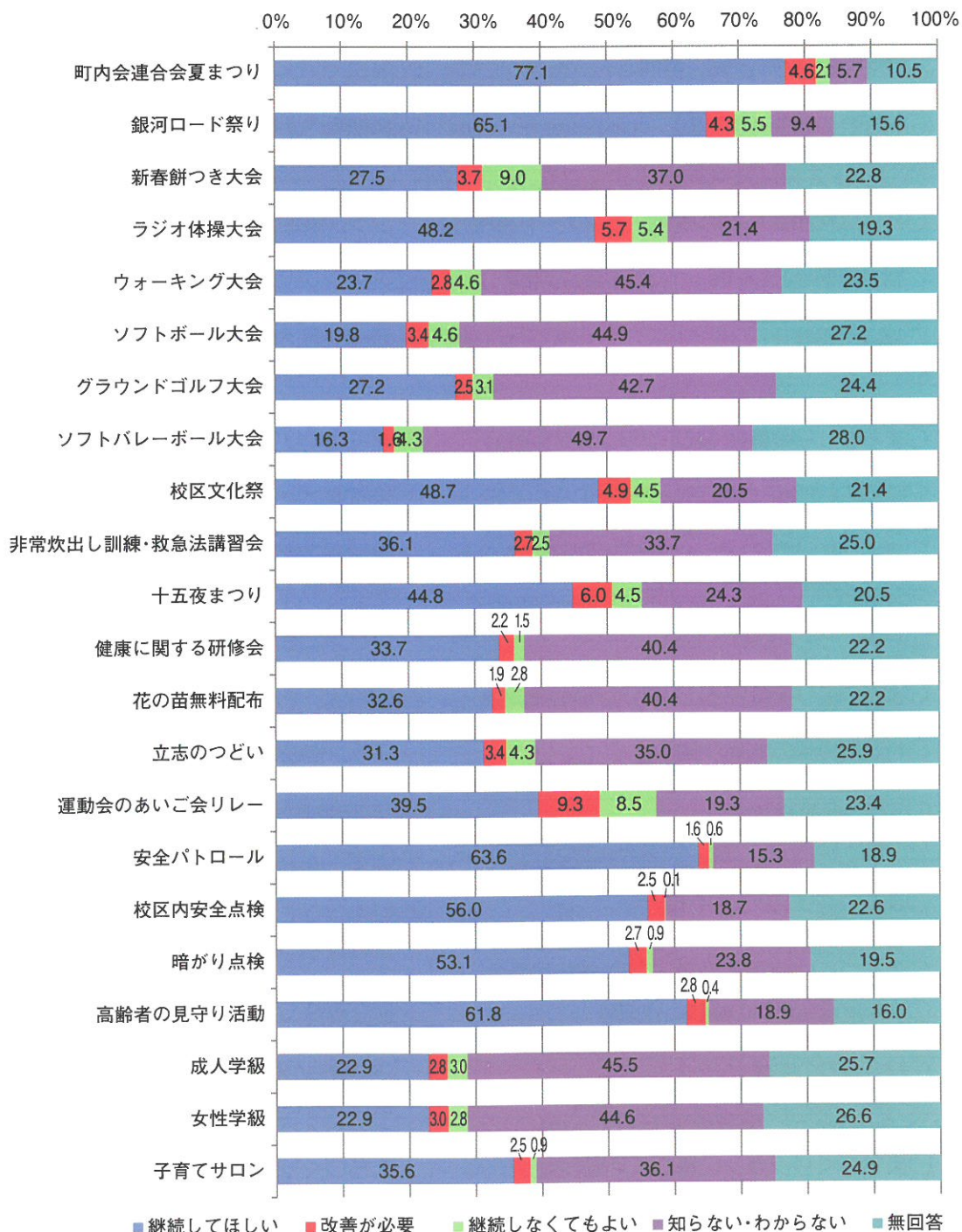


3. 既存の行事・イベントなどに関する質問

西伊敷地区で、これまで実施されてきた行事・イベントなどの今後に関するアンケートです。「継続してほしい」「改善が必要」「継続しなくてもよい」「知らない・わからない」「無回答」で、分析してあります。

継続してほしいものとしては、町内会連合会夏まつり・銀河ロードまつり・校区文化祭など町内での大きなイベントが挙げられる。また、校区内の安全パトロール・安全点検・暗がり点検・高齢者の見守り活動など、安心安全に関するものも多くなっている。反面、多くの行事・イベントなどを「知らない・よくわからない」「無回答」が多く見られた。

今後は、行事やイベントなどについて、期日、実施場所、内容などを知らせるなど、広報活動を充実して、認知度を高め、多くの地域住民の参加を促していく必要がある。



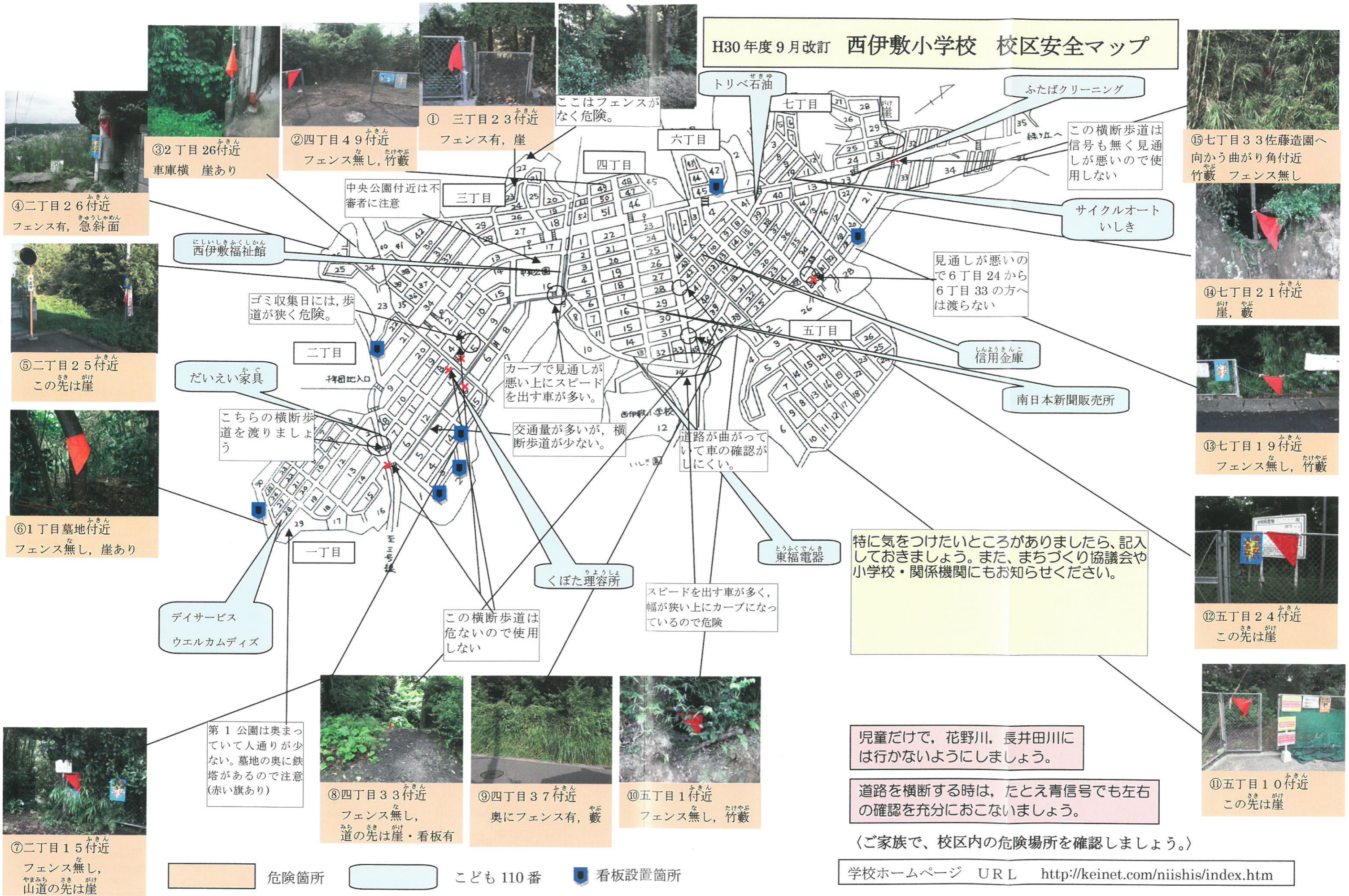
2 プラン策定経過

月	主な活動内容	備 考
29年 4	○「設立総会」(平成29年4月23日)	・設立までの経過・各事業・役員等について ・まちづくり事業内容等の確認 ・予算等
5 6	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○アンケート調査・内容について ○各構成団体の現状・課題把握 ○各部会の開催	・プラン策定計画についての話し合い ・アンケート内容について ・活動計画、予算案、プラン策定計画(案) ・各部会の計画の確認 ・各構成団体との連携
7 8	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○各部会の開催(現状・課題)	・地域の現状・課題のまとめ ・各部会の計画の確認
9 10	○地域づくりの資源の再確認と活用策 ○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○各部会の開催(現状・課題)	・事業名、事業内容、事業のねらい等の検討 ・部会毎の具体的な取組みの検討
11 12	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○各部会の開催(まとめ) ○総務広報部会(プラン策定について)	・アンケート内容の検討等 ・各部会によるまとめ(事業内容等)
30年 1 2 3	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○総務広報部会(プラン策定・アンケート再検討) ○プラン策定スケジュール等 ○総会準備等について ○各部会の開催	・アンケート内容の再検討 ・プラン策定のスケジュール検討 ・事業のまとめと次年度の事業等の検討
4	○まちづくり役員会 ○総会準備等 ○アンケート再検討	・部会毎の具体的な取組みの検討等 ・総会準備(事業報告、計画、予算、まちづくりプラン等の検討)
5 6	○「定期総会」(平成30年5月13日) ○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○各部会の開催 ○総務広報部会(主にアンケートについて)	・事業報告、決算報告、事業計画 予算 ・まちづくりプラン策定計画等 ・アンケートの作成・検討 ・まち協だより等
7 8	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○まちづくりのアンケート調査・回収 ○プラン策定取り組み	・アンケート集計・回収・集約 ・課題解決や目指す地域像実現にむけて、各部会の事業(活動)を選定
9 10	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○アンケートの集計・分析 ○各部会の開催	・まちづくりプラン策定計画の作成・検討 ・プランに活かせる事業等の検討等 ・アンケート集約・分析
11	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○プラン策定の作成・検討等 ○行政関係課の施策の検討 ○各部会の開催	・課題解決や目指す地域像実現に向けて、各部会の事業を選定・検討等 ・プラン作成等
12	○プラン策定検討会 ○活動の体系表の作成(前年度を基に)	・『西伊敷まちづくりプラン』としてのまとめ
31年 1	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○まちづくりプランの作成	・部会、策定委員会による検討・確認等
2	○次年度活動開始に向けた準備 ○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会	・役員会等による検討・確認等
3	○次年度総会資料の検討・作成等 ○まちづくりプラン(案)完成	・総会資料への位置づけ
4	○総会資料の完成 ○「第一期まちづくりプラン」完成	・総会資料の作成・完成 ・まちづくりプランの完成
5	○「定期総会」(令和元年5月12日) ○まちづくりプランに基づく活動開始	・まちづくりプランの確認 ・まちづくりプランの活動開始

3 プラン策定委員

	役 職 等	氏 名
1	西伊敷まちづくり協議会 会 長	加 藤 俊 文
2	西伊敷まちづくり協議会 副 会 長	森 山 勇
3	西伊敷まちづくり協議会 副 会 長	藤 崎 剛
4	西伊敷まちづくり協議会 総務広報部会長	中 崎 啓 文
5	西伊敷まちづくり協議会 総務広報副部会長	山 内 洋 平
6	西伊敷まちづくり協議会 安心安全部会長	中 川 光 弘
7	西伊敷まちづくり協議会 安心安全副部会長	下 内 軍 三
8	西伊敷まちづくり協議会 福祉部会長	村 山 雅 子
9	西伊敷まちづくり協議会 福祉副部会長	池 田 洋 三
10	西伊敷まちづくり協議会 社会教育部会長	中 村 健 子
11	西伊敷まちづくり協議会 社会教育副部会長	森 山 道 成
12	西伊敷まちづくり協議会 健康づくり部会長	宇 都 義 雄
13	西伊敷まちづくり協議会 健康づくり副部会長	南 貞 雄
14	西伊敷まちづくり協議会 青少年育成部会長	梶 和 嗣
15	西伊敷まちづくり協議会 青少年育成副部会長	茶 圓 真 吾
16	西伊敷まちづくり協議会 会 計	永 安 智 代
17	西伊敷まちづくり協議会 事務局職員	大 石 隆 志

H30年度9月改訂 西伊敷小学校 校区安全マップ



④二丁目26付近
フェンス有, 急斜面



③2丁目26付近
車庫横 崖あり



②四丁目49付近
フェンス無し, 竹藪



①三丁目23付近
フェンス有, 崖



ここはフェンスがなく危険。



⑤二丁目25付近
この先は崖



⑥1丁目墓地付近
フェンス無し, 崖あり

にししいきふくしかん
西伊敷福祉館

だいえい家具

デイスサービス
ウエルカムディズ

中央公園付近は不審者に注意

ゴミ収集日には, 歩道が狭く危険。

こちらの横断歩道を渡りましょう

第1公園は奥まわって人通りが少ない。墓地の奥に鉄塔があるので注意(赤い旗あり)



⑧四丁目33付近
フェンス無し, 道の先は崖・看板有



⑨四丁目37付近
奥にフェンス有, 藪



⑩五丁目1付近
フェンス無し, 竹藪

カーブで見通しが悪い上にスピードを出す車が多い。

この横断歩道は危ないので使用しない

交通量が多いが, 横断歩道が少ない。

くぼた理容所

スピードを出す車が多く, 幅が狭い上にカーブになっているので危険

道路が曲がっていて車の確認がしにくい。

東福電気

トリベ石油

見通しが悪いので6丁目24から6丁目33の方へは渡らない

信用金庫

南日本新聞販売所

特に気をつけたいところがありましたら, 記入しておきましょう。また, まちづくり協議会や小学校・関係機関にもお知らせください。

児童だけで, 花野川, 長井田川には行かないようにしましょう。

道路を横断する時は, たとえ青信号でも左右の確認を充分におこないましょう。

〈ご家族で, 校区内の危険場所を確認しましょう。〉

学校ホームページ URL <http://keinet.com/niishis/index.htm>



⑮七丁目33佐藤造園へ向かう曲がり角付近
竹藪 フェンス無し



⑭七丁目21付近
崖, 藪



⑬七丁目19付近
フェンス無し, 竹藪



⑫五丁目24付近
この先は崖



⑪五丁目10付近
この先は崖

危険箇所 こども110番 看板設置箇所

西伊敷校区 安心安全福祉マップ

(伊敷団地)

西伊敷校区社会福祉協議会
平成28年12月

【緊急ダイヤル】

警察	☎110(局番なし)
伊敷交番	☎229-2239
火事・救助・救急車	☎119(局番なし)
西伊敷(消防)分団	—
海の事故・事件	☎118(局番なし)
日本ガス	☎250-5119
九電鹿児島営業所	☎0120-986-804
鹿児島市水道局	☎257-7111
鹿児島市伊敷支所	☎229-2111
鹿児島市消費生活センター	☎258-3611
鹿児島県消費生活センター	☎224-0999

【災害時避難所指定・AED設置場所】

西伊敷福祉館	3丁目16-17	☎229-5981
西伊敷小学校	4丁目12-1	☎220-8057
緑丘中学校	緑ヶ丘町46-1	☎243-7320

【地震時の退避場所】

伊敷団地中央公園(3丁目16) (管理事務所 ☎229-6985)
第一公園(1丁目29)

このマップの使い方

西伊敷校区に居住する皆さんに、福祉に関する情報を地図上で表したものです。
危険箇所・避難場所・子ども110番の家・福祉館・公民館・集会所・医療機関・公園等が記してあります。
身近な所に掲示して、ご活用ください。

西伊敷校区社会福祉協議会

※このマップは、校区社会福祉協議会より提供していただきました。

【民生委員児童委員・主任児童委員名と担当区】

小田 弘子	☎228-8766	1丁目2~14,17~29
徳永 章吉	☎229-8780	1丁目1,15,16 2丁目1~20
末吉 朋子	☎228-6811	2丁目21~26 3丁目28~34,41,42
福元 淳一	☎229-8264	3丁目1~27
福富 久	☎228-8204	3丁目35~40
大石 博子	☎229-2176	4丁目1~22,45~53
信 スエ子	☎229-3537	4丁目23~44
池田 洋三	☎229-2961	5丁目(全域)
盛山 和江	☎228-6847	6丁目12~34
小田美奈子	☎220-6334	6丁目1~11,35~45
上 利夫	☎090-9582-2098	7丁目13~23
梶 恵利子	☎220-8866	7丁目32~36 7丁目1~12,24~31
村山 雅子	☎228-8989	主任児童委員(西伊敷校区担当)

(平成31年3月31日現在)

【学校・保育園等】

こまどり保育園	2丁目1-2	☎220-9722
西伊敷児童クラブ	4丁目12-1	☎228-6488
児童通所支援 わくわくキッズ倶楽部	2丁目9-7	☎295-6782
通所支援施設 ハビネス	4丁目22-2	☎295-0088
西伊敷小学校	4丁目12-1	☎220-8057
緑丘中学校	緑ヶ丘町46-1	☎243-7320

【子ども110番の家】

大栄家具インテリア	1丁目2-16	☎220-2395
デイサービス ウェルカム デイズ	1丁目28-3	☎295-0525
理容くぼた	2丁目17-1	☎220-9465
西伊敷福祉館	3丁目16-17	☎229-5981
東福電機	4丁目12-12	☎228-8486
南日本新聞伊敷団地販売所	4丁目16-6	☎220-9302
鹿児島信用金庫岡之原支店	6丁目12-4	☎220-2711
トリベ石油	6丁目41-1	☎220-9225
サイクルオートいしき	7丁目11-10	☎229-2362
ふたばクリーニング	7丁目23-9	☎229-9335

【集会所・公民館・福祉施設】

西伊敷福祉館	3丁目16-17	☎229-5981
西伊敷校区公民館(西伊敷小敷地内)	4丁目12-1	☎220-1178
5丁目公民館	5丁目9-12	—
岡之原公民館	6丁目28-9	—
西伊敷第一区町内会集会所	1丁目4	—
西伊敷第一住宅(市営)集会所	3丁目36	—
西伊敷第二住宅(市営)集会所	7丁目33	—
西伊敷第三住宅(市営)集会所	7丁目29	—
輝穂(きおん)デイサービス	1丁目3-1	☎295-0693
デイサービス ウェルカム デイズ	1丁目28-3	☎295-0525
元気塾デイサービスセンター	2丁目1-2	☎220-9733
ドリームいしき(NPO法人)	2丁目26-3	☎837-2499
ファミリー・リソース・翔(つばさ)	3丁目5-9	☎229-5518
リハビリ特化型 デイサービス たいそう	3丁目11-15	☎218-4568
孫子老サービス	3丁目21-9	☎228-9344
鹿児島市立いしき園	4丁目12-2	☎220-8194
グループホームはるかぜ西伊敷	4丁目45-5	☎228-2772
訪問介護ステーション空・就労支援事業所 ウィング	5丁目10-8	☎220-4392
特別養護老人ホーム「七福神」	3丁目14-3	☎295-0729
長寿あんしん相談センター西伊敷	3丁目16-18	☎295-4007

【各クラブ・学級】

西伊敷福祉館	☎229-5981	
子育てサロン	西伊敷健康クラブ	老人クラブ
女性学級	成人学級	カトレアクラブ

【医療機関】

なかむら整形外科クリニック	1丁目2-12	☎228-7841
坂下内科クリニック	3丁目20-15	☎228-2345
富永内科	4丁目7-4	☎229-2323
のぞみ歯科医院	2丁目6-1	☎229-4363
溝口歯科医院	3丁目1-5	☎220-2235
井ノ上歯科	3丁目13-4	☎228-5755
いぶすき歯科医院	4丁目45-2	☎228-5788
有川歯科医院	6丁目40-10	☎220-5411
鮫島整骨院	6丁目1-1	☎228-9870
東京整体治療院	6丁目8-1	☎220-7772
西部保健センター	永吉2丁目21-6	☎252-8522
県民総合保健センター	下伊敷3丁目1-7	☎220-2332
鹿児島市夜間急病センター	鴨池2丁目22-18	☎214-3350

【スーパー・薬局・コンビニエンスストア】

タイヨー伊敷団地店	3丁目2-2	☎220-5475
マツモトキヨシ伊敷団地店	3丁目3-6	☎229-0178
ローソン鹿児島伊敷団地店	4丁目46-6	☎220-1970
セブンイレブン鹿児島伊敷店	川上町3701	☎244-3001
ローソン鹿児島伊敷7丁目店	7丁目21-52	☎248-8798
ドラッグセイムス鹿児島伊敷店	7丁目21-51	☎220-6338

【保護司】

藤崎 剛	2丁目26-1	☎246-1190
脇元 邦彦	4丁目16-10	☎229-5500
大山まゆみ	4丁目19-10	☎220-3477
梶 恵利子	7丁目34-7	☎220-8866

【郵便局・金融機関】

鹿児島西伊敷三郵便局	3丁目1-1	☎220-9799
岡之原簡易郵便局	6丁目40-12	☎220-9494
鹿児島銀行西伊敷支店	3丁目4-3	☎229-7221
鹿児島信用金庫岡之原支店	6丁目12-4	☎220-2711

